# 令和5年度 福井県立清水特別支援学校 学校関係者評価書

- (間) ・学校評価の目標に対する成果や課題の分析は適切か。
  - ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
  - その他

#### (意見を聞いた方)

学識経験者、島寺地区自治会長、保育関係者、福祉関係者、同窓会会長、PTA会長

### (ご意見等)

#### ○教育課程・学習支援

- ・学年・学部が変わったとき、従来も引継ぎが行われていたことと思いますが、プロフィールシートがあることにより、より効率的で細やかな引継ぎができると思いますので、ぜひプロフィールシートの適用範囲を全児童生徒に拡大していただけければと思います。
- ・個々の理解を深めることでより一人ひとりに合った指導計画ができており、とてもよいと思います。
- ・十分できたと評価もあり、よいと思われます。

### ○生徒支援a

- ・成果指標で、「避難訓練や引渡訓練、不審者対策を通して、児童生徒の動きや自分の役割、危機管理マニュアルについて理解を深める」とあるが、何をもって理解を深めたと言えるのかが分かる行動指標があるとよい。理解を深めたと自己評価した教員に個々の取組内容を記入してもらうよう、アンケート様式に記入欄を作るとよい。
- ・災害対策における様々な訓練の経験や回数を重ねていくことが、非常事態に合わせた行動に繋がっていけるのではないかと思います。より一層、力を入れていただきますようお願いいたします。
- 十分できており、よいと思われます。
- ・令和5年度学校保健および学校安全表彰(文部科学大臣表彰)を受けたことは、今後の取組の励みになってよい。

### ○生徒支援b

- ・学校⇔保護者間で健康観察表をやりとりすることで、子どもの身体の小さな変化もみえるようになり、早期に対応できるようになりました。
- ・感染症対策においては今後も十分に気をつけていってほしいと思います。
- ・本校の行動基準に照らして継続的に実施が必要なもの、段階的に見直すものを見極めて緩和するとよい。

## ○進路支援

十分できており、よいと思われます。

## ○校内支援

・十分できており、よいと思われます。

# ○地域支援・交流(交流及び共同学習)

- ・地域や学校間との交流の場は、児童生徒にとってよい経験になっていると感じております。これもひとえに学校がコロナ禍での交流が危ぶまれる中で創意工夫をしながら、交流を継続していただいたおかげだと思っております。今後も地域・両校にとって有意義な交流になることを期待しております。
- ・地域の方々との交流においては子どもたちだけでなく関わった人すべての方が何らかの学びを得ていると思うので今後も積極的に行っていくとよいと思います。
- 十分できており、よいと思われます。

### (学校関係者評価を踏まえた今後について)

今回の学校評価については取組指標、成果指標、満足度指標ともに目標指数を超え100%達成できた重点目標も多かった。達成はしているものの各指標の捉え方については、評価の選択肢A・Bの割合を確認し、よりAの割合が多くなるように意識を高く持って取り組んでいきたい。また、評価者からの貴重なご意見や評価等を学校全体で共有し、次年度にいかしていきたい。